

鉛製給水管（鉛管）に関するQ&A

Q1	鉛管はどうして使われてきたのですか？		
A	鉛管は加工しやすく、管内にサビが発生しないため給水管として全国的に使われていました。		
Q2	鉛に関する水質基準の改正はいつ、施行されたのですか？		
A	平成15年4月1日に施行されました。		
Q3	水質基準とはどのようなものですか？		
A	水道水として皆さんに安心して飲んで頂くためにクリアしなければいけない要件であり、水道法(4条)に基づく水質基準に関する省令で、51項目の水質基準が定められております。		
Q4	鉛の水質基準はどうなっていますか？		
A	昭和33年	水質基準に関する省令	水道水中の鉛が法的規制を受けました。基準値は 0.1mg/L(ppm)以下でした。
	平成4年12月	省令 69 号	鉛の水質基準が 0.1mg/L 以下から 0.05mg/L 以下に改められました。
		水道環境部長通知	「概ね10年後の長期目標を、0.01mg/L 以下とすべき」とされました。
平成14年3月	省令 43 号	鉛の水質基準が 0.05mg/L 以下から 0.01mg/L 以下に改められました。	
Q5	なぜ、基準が5倍も厳しくなったのですか？		
A	鉛は蓄積性毒物であり、成人に比べて小児の吸収率が高いと言われています。鉛の人体への蓄積と、乳幼児、胎児および妊婦の健康影響への感受性を考慮して、長期的により安全性を高めるためにこの基準になりました。		
Q6	他の国の基準値は、どのくらいですか？		
A	世界保健機構 (WHO)	0.01mg/L(暫定)	1993年
	米国	0.015mg/L	1991年
	EU	0.01mg/L	1998年
	カナダ	0.005mg/L	2019年
	日本	0.01mg/L	2003年

Q7	給水管についての基準はどのように変わってきたのですか？		
A	平成 元年 6月	給水管等に 係る衛生対 策の通知	新しい給水管を布設するに際しては、鉛溶出による問題の生じない管材料を使用すること。 配水管の更新を行う場合等には、それに付随する鉛管を鉛溶出による問題の生じない管材に布設替えするよう努めること。
Q8	鉛の人体への影響はどのようなものですか？		
A	鉛は、蓄積性のある毒物であり、健康への影響については鉛の摂取量と血液中の鉛濃度に関係があります。日本人の血液中の鉛濃度・ばく露量は、世界的に見ても低いレベルにあります。 しかし、乳幼児および妊婦は、鉛による健康影響を受けやすく、長期的に多量摂取すると、子供の視覚や聴覚、動作能力等に影響がでる場合があるとされています。		
Q9	鉛はどのようにして人体に摂取されるのですか？		
A	人が鉛を摂取する経路は、大気、食物、水、ほこり等で多様です。1日に人が取り込む量のほとんどは、食品からの摂取や、土埃、ほこりの吸い込みに起因しています。		
Q10	水道管から水道水に鉛が溶け出すと聞いたのですが、本当ですか？		
A	浄水場からお送りする水には鉛は含まれていませんが、鉛管を使用のご家庭では、ごく微量ですが鉛が溶出しています。また、鉛管以外にも蛇口等の給水器具から鉛が溶出している場合もあります。		
Q11	どんな条件で、水道水に鉛が溶出するのですか？		
A	水道水の pH が 7.5 以上になりますと溶出量は低減します。 鉛管が長いほど、水温が高いほど、また、鉛管の中での滞留時間が長いほど溶出量が増えます。		
Q12	鉛の水質基準値を超えると、どうなるのですか？		
A	鉛の水質基準値を超えた水道水を長期間多量摂取し、食品等からの摂取量を含めて許容量を超えたときは、有害な影響を引き起こすことがあります。		
Q13	鉛の溶出対策はどうすれば良いのですか？		
A	根本的な解消は鉛管を取替えいただくこととなります。すぐには取替えできない場合は、暫定対策として朝・ター番の水や長期間留守にしていた後などの使い始めの水をバケツ1杯程度、洗濯・トイレ・風呂・散水等の飲用以外の用途にお使いください。		
Q14	浄水器で鉛は取れるのですか？		
A	浄水器の種類により、除去できるとの報告もあります。 詳しくは、浄水器販売店等にお問い合わせください。		

Q15	自分の家の水道管が鉛管かどうか、教えて欲しいのですが。
A	高松ブロック統括センター給水課鉛管対策係 (Tel 087-839-2760) までお問い合わせください。過去に施工された工事記録からお調べします。(一部地域によっては、工事記録がない場合もあります。)
Q16	水道企業団の負担で鉛管を取り替えてはもらえないのですか？
A	<p>ご家庭の水道管はお客様の財産であり、お客様の負担で取り替えていただくことを原則としています。ただし、水道本管の布設替えや公共工事の際には、水道企業団で鉛管を取り替える場合もあります。</p> <p>なお、水道企業団では、お客様の負担軽減と取替推進のため、「鉛製給水管取替工事助成金交付制度」を設けています。鉛管の布設されている状況等はそれぞれの家屋により異なるため、工事の規模や代金については、水道企業団の指定給水装置工事事業者から見積りを取り、取替えをご検討ください。</p>